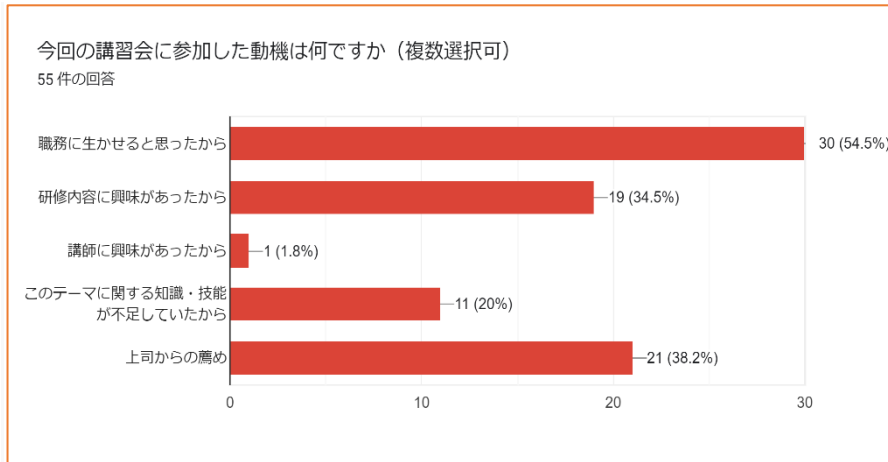


第3回土木技術講習会 『災害時の危機管理』 受講確認シート集計結果

1. 参加状況

| 区分 | 当初申込み | 受講可人数 | 参加者 | 出席率 |
|---------|-------|-------|-----|--------|
| 県 | 1 | 1 | 1 | 100.0% |
| 市町村 | 4 | 4 | 4 | 100.0% |
| 建設業 | 54 | 42 | 37 | 88.1% |
| コンサルタント | 17 | 17 | 16 | 94.1% |
| その他 | 0 | 0 | 0 | - |
| 計 | 76 | 64 | 58 | 90.6% |

2. 今回の講習会に参加した動機は何ですか（複数選択可）



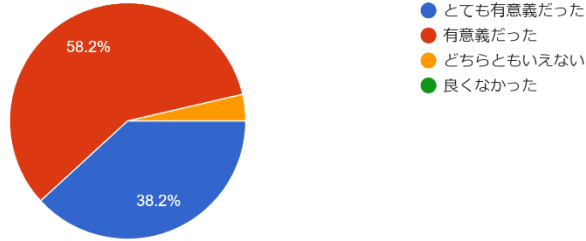
3. その他の場合や上記の具体的な理由を記入ください

- 危機管理能力の向上につながる
- CPDS 対象講習だったため。
- 自社製品の開発のヒントになりそうだと感じたから。
- CPDS
- 災害時の初歩だと思い参加しました。
- 令和3年に策定した松江市上下水道局防災計画及び、毎年実施する防災訓練をより現実的なものにしたい。
- CPD ポイント取得のため
- CPDS ポイント取得の為
- 業務なので災害の関係をすることがあるので
- 地域コミュニティの形成に必要な知識を得るため
- 防災訓練を勉強したいため
- 講習内容
- 行政と災害協定を組んでいるため
- これまであまり受けた事が無い内容だから
- 興味があったから

第3回土木技術講習会 『災害時の危機管理』 受講確認シート集計結果

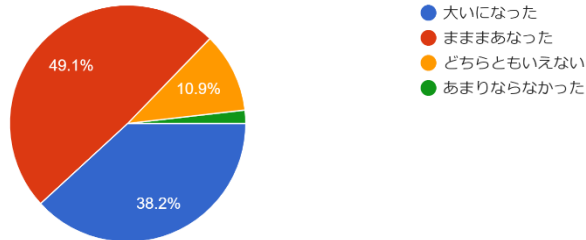
4. この講習会は有意義でしたか

この講習会は有意義でしたか
55件の回答



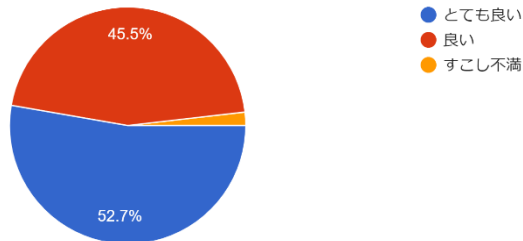
5. 今後の自己啓発の動機付けになりましたか

この講習会は今後の自己啓発の動機付けになりましたか
55件の回答



6. 講師について意見がありますか

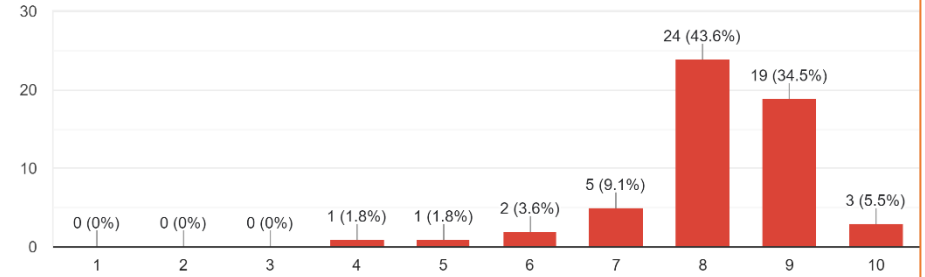
講師について意見がありますか
55件の回答



7. この講習会を評価すると10点満点で何点ですか

AVE: 8.2

この研修会を評価すると、10点満点で何点ですか
55件の回答



その具体的な理由を記入して下さい

- グループ内発表の方がいいかもしれません。
- 実践してみないと研修の意味があったか分からないため
- 体験型講習で、とても勉強になった。実際に災害が起こった時の情報の正しい見方などとても参考になった。
- グループ調和をどうすべきか、自分はどこまで積極的になるべきか等の判断が少し難しかったです。
- 講習コンテンツがちょうど良い
- ①自治会長の設定で訓練しているので、本気度が増す。
②昼以降も、リーダー、サポーター役を決めないと、まとまり感(統制が)無くなる。講演側がきちんと指示すべき。
③この講演内容であれば、午前と午後のグループをシャッフルしては。理由は、いろいろな人の考え方学べる。リーダー、サポーターの交代も定義付けできる。午前と午後でグループメンバー変わるの。
- 判りやすい解説で、参考になりました。

第3回土木技術講習会 『災害時の危機管理』 受講確認シート集計結果

8. この講習会全体を通じて感じたこと、要望、提案等率直な意見を記入してください

- いつもと違った形の講習なので楽しく受講ができた
- 講師の方が複数人居られたので、その人たちにもグループワーク実習のサポートを任せてもよかったのではないのでしょうか。多少の災害現場の経験があるのなら、サポートはできそうな気がします。
- グループワーク実習形式でしたが比較的取っ付きやすい内容でやりやすかったです。
- 臨機応変ということが多かったのである程度の経験が必要なんだなと思いました。
- 今後も災害対応の講習等を受け、防災・減災の現場力を上げたいです。
- もう少し時間をとっても良いと思う
- 上記に一部記載 ②この内容であれば、土木技術講習会でなく、一般の事務職の方の講習会としても良いのでは。例えば、「あなたは、リーダー。災害時にどうするの？」のキャッチフレーズ付きで。
- 今回のような事例に基づく研修は、難しいですが非常に有意義でした。

9. 今後「島根県建設技術センター」に取り組んでほしい内容や開催してほしいイベントがあれば記入してください

- BCP 計画の策定演習(地震、水害等)
- 答えが欲しいと思いました。なかなか無いと思います。
- 今回の講習会でもありましたが、過去に起こった災害での対応事例を参考にしたテーマだと、自分達が決めた結論がどうだったのかの検証がしやすいと感じました。次は、「被害情報収集・報告訓練」の続きで、どう対応するのかの訓練があるとありがたいです。
- ①防災訓練で、女性が参加意欲をそそる(このそそるが大切!)内容が欲しい。例えば、女性目線の避難所開設(レイアウト含む)、運営、クローズ、振り返り。

②ペット、新生児に寄り添える避難所暮らしをするには。

③女性、男性ができる避難所簡単グッズ作り(親子でできるも含む)

④キャンプと防災 キャンプ道具を使用して、災害時にどうゆう道具が、どう活かせるかとか。親子、グループ参加 特に若い人のグループ参加であれば、若い時期から防災に興味を持ってもらえれば、住む地域も防災リーダーになってくれるかも。また、若い人のグループ(男女、男性、女性だけのグループは、当日混合にする)キャンプ防災としてイベント企画 そうすれば、カップルカップルになり結婚。こうなれば、カップルとも防災リーダーになれるかも。子どもその後防災リーダーになれるかも。妄想ですが。

- 今回のようなグループ討議が出来るような研修。

10. 今後「島根県建設技術センター」に取り組んでほしい内容や開催してほしいイベントがあれば記入してください

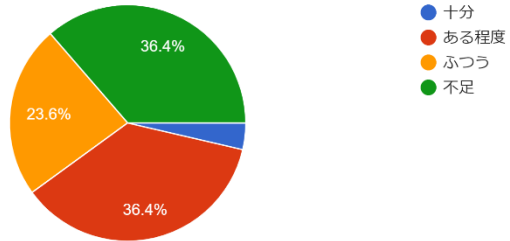
- 建設に必要な建機の展示会、講習会を。一般人も参加できる。なぜ 草刈り機、チェンソーなどは一般の方も使用。その安全な使い方、メンテ方法を講習会で教える。重機も同様で、イベント参加から、建設業への転職、子どもたちへの興味を与えることができるのではと考えます。要検討、その協議事項ですが。

第3回土木技術講習会 『災害時の危機管理』 受講確認シート集計結果

11. 講習会科目「災害時の危機管理」について

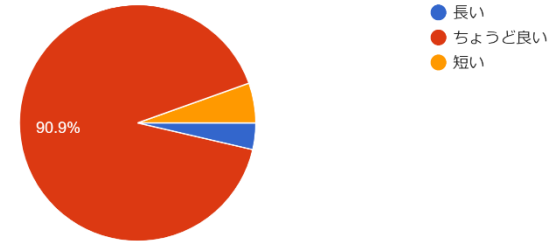
「災害時の危機管理」について受講前に科目の内容を知っていましたか

55件の回答



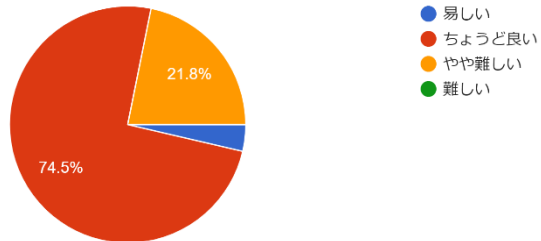
「災害時の危機管理」の講義時間は十分でしたか

55件の回答



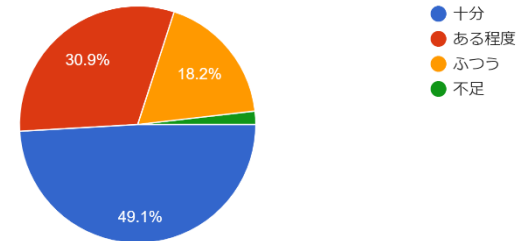
「災害時の危機管理」の講義水準はどうでしたかしたか

55件の回答



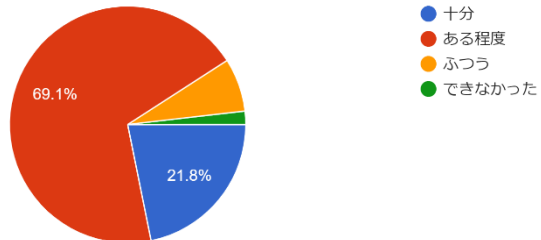
「災害時の危機管理」のテキストなど、教材の内容は充実していましたか

55件の回答



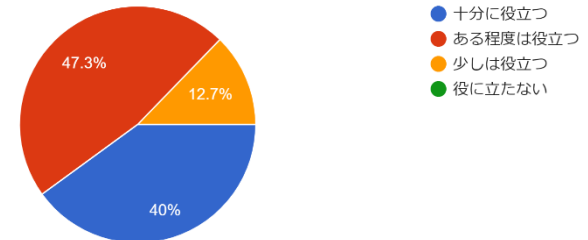
「災害時の危機管理」の内容について理解できましたか

55件の回答



「災害時の危機管理」は今後の仕事に役立ちますか

55件の回答



第3回土木技術講習会 『災害時の危機管理』 受講確認シート集計結果

12. 講習会科目「災害時の危機管理」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください(意見・感想・要望・質問)

- 経験が不足な若手には少し難しいかもしれません。
- 模擬災害でも情報が多く処理する大変さと難しさがわかりました
- いざ大規模災害が発生した時にどう動くべきかシミュレーション出来た。
- 実習を通じて他社の方との交流ができて新鮮でした。災害対応の苦勞を肌で感じることができ、有意義でした。
- 質問です。昼からの講習ですが2時間後の被害情報まででしたが最終的には何時間までの被害情報を整理するのですか。
- とても分かりやすく有意義な講習会でした。
- 考えていたよりずっと難しかった。特に情報の整理の仕方
- 実際の災害発生を想定する事ができ、臨場感のある講習でした。災害に対する意識が向上しました。
- 時間があれば事例を紹介してほしい
- 防災訓練のマンネリ化を打破する具体例をお聞きしたい。毎年訓練しているが(コロナ禍除く)参加者減、意識減があり、その向上させる方法が知りたい。
- 素晴らしい講習でした。
- 本講習を受け、自分がいかに有事に対する備えが出来ていないことが分かり、その必要性を認識させていただいた。
- 過去の事例を参考に課題が設定されており、勉強になりました。

第3回「災害時の危機管理」質問表

| | | |
|----|-----------------------|--|
| 項目 | 「図上訓練・中級編」ほか | |
| 講師 | 八千代エンジニアリング(株) 寺脇 学 氏 | |
| ① | 質問者 | 受講番号43 |
| | 質問 | 質問です。昼からの講習ですが2時間後の被害情報まででしたが最終的には何時間までの被害情報を整理するのですか。 |
| | 回答 | 今回の訓練は情報処理の重要性やコツを学習することを目的としており、2時間までしか作成しておりません。実際の訓練は人命救助の72時間を目安として、訓練回数を重ね、6時間、12時間、24時間、48時間、72時間までに情報を追加していくことが有効と考えております。 |
| ② | 質問者 | 受講番号50 |
| | 質問 | 防災訓練のマンネリ化を打破する具体例をお聞きしたい。 |
| | 回答 | 市町村の防災訓練では、地域防災計画やBCPの多種多様な訓練がありますので、すべての項目の流れを確認する全体訓練、項目を絞り、毎年少しづつ実施している市もあります。また、情報収集・整理訓練を毎年40名づつ、事務系及び技術系職員に全員1回実施することにより、職員全員が防災担当となることを目指している市もあります。訓練は目標(実施内容と制限時間)を決め、課題を抽出し、次回に検証することを繰り返すことが重要です。できることから実施するのがよいかと思えます。水害に関してですが、下記の資料が防災体制の構築に向けて、参考となるかと思えます。 https://www.pwri.go.jp/icharm/special_topic/20200625_flood_response_collection_j.html 具体的な回答とはなっておりませんが、参考にさせていただければ幸いです。 |

